

平成 19 年 7 月 5 日

各 位

学校法人神奈川大学
株式会社りそな銀行

「地域社会の活性化・発展」のための包括的連携に係る協定の締結について

学校法人神奈川大学（理事長 白井 宏尚）とりそな銀行（社長 水田 廣行）は、本日、「地域活性化・発展」のための包括的な連携に関する協定を締結致しました。

本協定は、神奈川大学とりそな銀行が、広範囲の連携による相互協力をを行い、人的・知的資源を積極的に交流させることで、「地域社会との連携を強化することにより地域社会の活性化・発展に貢献していくこと」を目的としております。

神奈川大学の研究成果の地域社会への還元、りそな銀行のお取引先へのサービス充実を図ることに加えて、学生には、就業体験の機会や実地教育の場を提供するものです。

本協定の締結により、神奈川大学とりそな銀行は、学生参画型の新しい連携の構築を含め、地域社会・経済の活性化・発展に積極的に取り組んで参ります。

【相互協力にかかる具体的施策】

1. 大学発地域社会活性化への取り組み推進

神奈川大学は、りそな銀行が展開する REENAL プロジェクトと連携し、企業や地域とのコラボレーション企画を検討し、大学発地域社会活性化への取り組みを推進して参ります。

また、取り組み推進を強化していくために、神奈川大学の学生および職員とりそな銀行の社員で『地域社会活性化ワーキンググループ』を6月に約15名で立ち上げました。第1回のミーティングでは、商店街活性化への取組みや大学祭の地域への広がりについての意見交換を実施しております。

※REENAL プロジェクト

REENAL(リーナル)とは、りそな銀行が中心となって他企業や地域とのコラボレーション企画を展開し、企業や地域のポテンシャルを引き出すことで、最終的に新しいマーケットを創造することを目的としたプロジェクトの総称。りそな銀行の“RESONA”と地域をあらわす“REGIONAL”を組み合わせた造語。

2. インターンシップ受入先の紹介

神奈川大学の学生インターンシップについて、りそな銀行のお取引先ネットワークを活用し、学生の受入に積極的な、主に神奈川県内に営業拠点を保有する企業を紹介することで、地域と大学の連携を深める取り組みを行います。

また、日本企業の海外拠点へのインターンシップや留学生のインターンシップへの協力も検討して参ります。

なお、りそな銀行は、8月に神奈川大学より20名程度、学生インターンシップを受入れ、神奈川地域の店舗での実地研修等を実施する予定にしております。

3. 法科大学院「無料法律相談」の活用

神奈川大学法科大学院のカリキュラムの一つである「リーガルクリニック」の一環として行われている無料法律相談を、りそな銀行の法人のお客さまにご紹介致します。

弁護士に依頼するほど難しい内容ではないものの少し相談に乗って欲しいといった問題等、お取引先のニーズに大学と銀行が連携し無料で幅広くお応え致します

4. 産学連携の推進

神奈川大学とりそな銀行は、従来の産学連携を更に進め、相互に協力し有機的なネットワークを構築していきます。具体的には、りそな銀行は、お取引先企業からの産業技術に関する相談に対し、神奈川大学を紹介し、技術の実用化等をサポート致します。一方、神奈川大学は主に実用化可能となった技術や商品等について、りそな銀行のネットワークを通じて情報提供、協力企業の開拓、ビジネスマッチング等を推進して参ります。

実際に、りそな銀行は、神奈川大学が開発した「スーパー・エマルジョン燃料」について、協力企業を紹介する等のサポートを開始しております。

※ スーパー・エマルジョン燃料

学校法人神奈川大学産官学連携プロジェクトチームは、中心メンバーである工学部田嶋和夫教授が研究・開発した、従来の界面活性剤による乳化法に代わる新しい乳化法「三相乳化技術」により、国土交通省の次期排出ガス規制をクリアする画期的なスーパー・エマルジョン燃料を開発しました。現在、実証実験等により、その環境効果・効能を確認するとともに、様々な分野での実用化に向け研究・開発を継続して行っております。

上記の地域活性化や産学連携等の各種施策については、りそな銀行の包括提携先である財団法人川崎市産業振興財団をはじめ県内の地方公共団体等とも連携して参ります。また今後、本協定の趣旨に鑑み、双方が連携することで有益であると思われる事項については上記以外にも積極的に推進して参ります。

以 上